

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C15

申請日	2013/7/30	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

mFOLFOX6 + Panitumumab	病名	大腸癌	外科	提出医
<b>対象</b>	EGFR陽性の切除不能の進行・再発の大腸癌			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)									
			1	7	15	20	22	25	30			
ベクティビックス (パニツムマブ)	6mg/kg	div	○			○						
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	div	○			○						
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>	div	○			○						
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	div	○			○						
フルオロウラシル	2,400mg/m <sup>2</sup>	div	○→			○→						

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

※0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルター(PVCフリー使用)

\* 当院の院内共通セット登録/EGFR阻害薬「皮膚障害予防セット」を使用すること。

症状出現時は、Grade別に対応・治療薬を処方。皮膚障害時には、薬剤師に相談。

\*RAS(KRAS/NRAS)野生型のみ適応。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+ポララミン5mg 2A+デキサート/div 30分  
(デキサート:初回量16mg、2回目以降8mg)
- ③ メイン【赤-2】生理食塩液100mL /div 30分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL+ベクティビックス /div 60分
- ⑤ メイン【白-1】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑥ メイン【白-2】5%ブドウ糖液250mL+オキサリプラチン /div 2時間
- ⑥' Y側管【水色】5%ブドウ糖液250mL+レボホリチート /div 2時間
- ⑦ メイン【青】生理食塩液50mL+フルオロウラシル400mg/m<sup>2</sup> /div 全開
- ⑧ メイン【黄】生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m<sup>2</sup> /civ 46時間
- ⑨ 【ルアーロック】ヘパリンNaロックシリンジ (終了後ポートフラッシュ)

同時に

※ インフューザーポンプ使用の場合(外来化学療法)

携帯型⑧' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル

(生食の量は最終用量が140mLになるように薬剤科で調整) /div 46時間 (3.7mL/hr)

参考文献 ベクティビックス適正使用ガイド

Siena S, et al : J Clin Oncol 39, 5: 321-326. 2009